

市の取り組みの満足率1位は「せせらぎと緑や花を活かしたまちづくり」

令和元年度「三島市市民意識調査」調査結果の特徴について

市民の皆さまの意見や要望を市政の参考とするため、市民意識調査を実施しました。

ここがポイント！

- 三島市の市民意識調査は第4次三島市総合計画に対応し、「総合計画の指標」「市の取り組みの満足率」などを進捗状況や経年変化がわかるように調査しています。
- 「住みやすさ」と「市への愛着率」は、調査開始以来、最高値。
- 市の取り組みの満足率1位は「せせらぎと緑や花を活かしたまちづくり」67.2%。
- 市の施策の重要度1位は「地震・水害などの防災対策」4.54点。
- 市民の幸福感は国の平均より高くなっています。

1 調査方法

市民から単純無作為抽出した18歳以上の男女2,000人を対象として、郵送及びインターネットで調査。有効回収数は1,085件（内、ネット回答127件）、回収率は54.3%で、30年度より1.5%減少しました。

2 調査の内容

【継続調査】

- ・「居住環境」について
- ・「総合計画の指標に関する項目」について
- ・「幸福感」について
- ・「環境への取り組み」について
- ・「災害対策」について
- ・「文化的環境」について
- ・「公共交通」について
- ・「市の取り組みの満足度・重要度」について
- ・「自治会・町内会での活動」について
- ・「健康」について
- ・「広報活動」について
- ・「男女共同参画」について
- ・「障がいのある人への理解」について

【新規調査】

- ・「三島駅南北自由通路の整備」について
- ・「税金」について
- ・「産業振興・ホストタウン」について
- ・「土地利用」について

3 令和元年度の結果の特徴

特徴1 「住みやすさ」や「市への愛着率」が高くなっています。

(1)毎年高い満足率を得ているもの

「住みやすさ」91.2%（前年度90.4%）は、平成15年度の調査開始以降最高値となっています。（満足率＝「満足」＋「やや満足」）

「三島市への愛着率」86.8%（前年度86.4%）も、平成15年度の調査開始以降最高値となっています。（愛着率＝「非常に愛着を感じる」＋「やや愛着を感じる」）

(2)生活環境の満足率

「水のきれいさ」81.1%（前年度79.3%）、「空気のさわやかさ」74.3%（前年度73.0%）、「身近な緑や自然の量」69.0%（前年度63.5%）が上位3項目となりました。

特徴2 将来の三島市像については、健康、福祉、自然、環境に引き続き期待が集まっています。

(1)三島市が将来どのような都市になったらよいか

上位2項目である「保健や医療、福祉の充実した優しさのある都市」、「自然や環境に優しい安らぎのある都市」への期待が継続しています。

三島市がどのような町になったらよいか（1つ選択）

将来都市像		R1 (前年比)	H30 (順位)	H29 (順位)	H28 (順位)	H27 (順位)	H26 (順位)
1位	保健や医療、福祉の充実した優しさのある都市	30.6 (-0.7%)	31.3 (1位)	33.8 (1位)	31.3 (1位)	33.9 (1位)	36.1 (1位)
2位	自然や環境に優しい安らぎのある都市	19.4 (+1.7%)	17.7 (2位)	18.3 (2位)	16.2 (2位)	17.2 (2位)	15.6 (2位)
3位	災害に強く安全で安心して暮らせる都市	12.3 (+1.5%)	10.8 (4位)	10.9 (4位)	12.8 (4位)	8.2 (5位)	12.4 (3位)
4位	歴史や文化を大切にした風格ある都市	11.8 (-2.3%)	14.1 (3位)	11.0 (3位)	13.1 (3位)	12.8 (3位)	11.2 (4位)
5位	活発な産業・経済活動の盛んな活気に満ちた都市	8.8 (+1.5%)	7.3 (6位)	7.9 (6位)	6.9 (5位)	9.0 (4位)	6.7 (5位)
6位	公園や道路、下水道などの生活基盤が整備された都市	7.4 (+1.4%)	6.0 (7位)	4.0 (7位)	6.8 (6位)	6.0 (7位)	5.6 (7位)
7位	観光客が多く、商業が活性化した人が集まるにぎわいのある都市	5.9 (-1.6%)	7.5 (5位)	8.0 (5位)	5.9 (7位)	7.0 (6位)	6.4 (6位)

(2)将来の都市規模

「伊豆地域を代表する都市、人口15～19万人程度」が最多となり、伊豆地域を代表する規模の都市への期待が高まっています。

将来の都市規模	R1	H30
伊豆地域を代表する都市、人口15～19万人程度	36.1%	32.8%
現状のまま、人口11万人程度	34.4%	36.7%
県東部の中核都市、人口30～40万人程度	17.4%	17.7%
人口20万人程度	7.0%	6.1%
人口70万人程度	3.9%	4.7%

特徴3 「せせらぎと緑や花を活かしたまちづくり」の満足率が高くなっています。

(1)満足率上位5項目

前年と項目・順位は同じであり、「ガーデンシティみしま」や「スマートウェルネスみしま」の2本柱の関連項目を中心に高い満足率が維持されています。

(2)不満率上位5項目

上位の5項目に変化は見られませんでした。

▼項目別満足率(=「満足」+「やや満足」)

項目別満足率		分類	R1 (前年比)	H30 (順位)	H29 (順位)	H28 (順位)	H27 (順位)	H26 (順位)
1位	せせらぎと緑や花を活かしたまちづくり	都市基盤	67.2 (-5.6%)	72.8 (1位)	71.2 (1位)	69.4 (1位)	60.9 (1位)	69.3 (1位)
2位	「広報みしま」による市政情報の提供	協働・ 行財政	56.7 (+0.4%)	56.3 (2位)	57.7 (2位)	59.6 (2位)	53.3 (2位)	58.6 (2位)
3位	美しい景観(都市・自然・歴史)の保全・形成	都市基盤	47.9 (-5.5%)	53.4 (3位)	51.7 (3位)	53.7 (3位)	43.7 (5位)	48.0 (4位)
4位	公園・水辺空間の整備	環境保全	47.2 (-0.3%)	47.5 (4位)	49.1 (4位)	49.2 (4位)	44.2 (3位)	49.6 (3位)
5位	健康診査、健康相談等の健康増進	健康・ 福祉	46.4 (+2.2%)	44.2 (5位)	44.0 (5位)	45.3 (5位)	43.0 (6位)	42.9 (6位)

▼項目別不満率(=「不満」+「やや不満」)

項目別満足率		分類	R1 (前年比)	H30 (前年比)	H29 (順位)	H28 (順位)	H27 (順位)	H26 (順位)
1位	歩道の整備	都市基盤	46.8 (+4.0%)	42.8 (1位)	39.8 (1位)	38.4 (1位)	42.2 (1位)	41.9 (1位)
2位	バスなどの公共交通の充実	都市基盤	41.9 (+5.2%)	36.7 (4位)	36.2 (2位)	36.3 (2位)	33.5 (3位)	35.7 (3位)
3位	三島駅周辺(北口・南口)の整備	都市基盤	39.6 (+1.1%)	38.5 (2位)	32.6 (4位)	34.7 (4位)	32.9 (4位)	33.0 (5位)
4位	生活道路の整備	都市基盤	38.8 (+1.5%)	37.3 (3位)	36.0 (3位)	35.5 (3位)	40.0 (2位)	37.4 (2位)
5位	にぎわいのある商業・商店街づくり	産業振興	30.4 (-0.1%)	30.5 (5位)	31.4 (5位)	27.1 (5位)	30.4 (5位)	34.2 (4位)

特徴4 施策の重要度は、「防災」「救急」の分野で高く、上位5項目とも満足度は3.0点を上回っています。

重要度上位5項目		分類	重要度	満足度
1位	地震・水害などの防災対策	市民生活	4.54点	3.16点
2位	消防・救急体制の確保	市民生活	4.51点	3.50点
3位	休日・夜間の救急医療体制の充実	健康・福祉	4.47点	3.10点
4位	交通安全の対策	市民生活	4.42点	3.10点
5位	日常での医療サービスを受ける環境	健康・福祉	4.38点	3.36点

※重要度・満足度とも5点満点。全42項目

特徴5 市民の幸福感は国の平均より高くなっています。

『現在あなたは、どの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思われますか。』の問いに対し、市民の平均点6.82は昨年度とほぼ同じで、国の平均点6.38(※)より0.44点高く、自分が幸福と感じている人が多くなっています。

	R1	H30	H29
幸福感平均点	6.82	6.83	6.64

※厚生労働省「健康意識に関する調査」より(対象20歳以上・5,000人)平成26年2月実施

また、幸福感を判断する際に重視する事項は、「家族関係」が「健康状況」を抜いて最多となりました。

幸福感を判断する際の重視事項(複数回答可)

項目		R1 (前年比)	H30	H29	H28	H27
1位	家族関係	60.4 (+3.3%)	56.7	57.0	55.9	54.0
2位	健康状況	60.0 (+2.7%)	57.3	60.7	62.8	61.0
3位	家計の状況	55.3 (+3.8%)	51.5	47.9	50.6	50.1
4位	精神的なゆとり	42.2 (+3.9%)	38.3	40.7	41.3	37.1
5位	自由な時間	39.9 (+4.9%)	35.0	35.8	35.6	34.6

令和元年度新規調査項目について

(1) 三島駅南北自由通路の整備について

「南北自由通路の整備は必要だと思いますか」の問いに対し、「必要」が77.5%、「不要」が7.4%となりました。「必要と回答した理由(複数回答可)」の問いに対しては、「旅行者の利便性が向上する(72.5%)」、「三島駅周辺のぎわいが創出される(62.1%)」、「通勤・通学で使用する(42.2%)」が上位3項目となりました。

(2) 産業振興・ホストタウンについて

「あなたは市内のお店(チェーン店を除く)を、買い物等でどの程度利用しますか」の問いに対し、「たまに利用する(月に1回以上)」が30.0%、「よく利用する(週に1回以上)」が25.1%、「あまり利用しない」が23.5%で上位3項目になりました。また、「三島市がアメリカ合衆国のホストタウンであることを知っていますか」の問いに対し、「知っている」は20.6%でした。

(3) 税金について

「市税についてどのような情報を知りたいですか」の問いに対し、「市税の使い道」が55.6%、「市税の軽減対策」が17.1%、「市税の公平性」が10.6%で上位3項目になりました。

(4) 土地利用(土地の使い方)について

「東駿河湾環状道路・インターチェンジ周辺及び今後整備予定の主要幹線道路(谷田幸原線・西間門新谷線)について、今後、特にどのような点を重視した土地利用を進めていくべきか」の問いに対し、いずれの地域においても、「豊かな自然環境の保全を図る」が最多となりました。